

洗心園だより

発行 社会福祉法人洗心会 特別養護老人ホーム洗心園

〒739-0452 廿日市市丸石二丁目7番47号

TEL 0829-55-0112 FAX 0829-55-0012

Eメールアドレス info@senshinen.or.jp

ホームページ <http://www.senshinen.or.jp/>



魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま制度 プラチナ認証法人

～お誕生日おめでとうございます～

毎月、誕生会でお祝いをしています。



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は当法人の事業運営に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

一昨年の11月に宮浜温泉から丸石に移転しはや一年が経ちました。移転当初はコロナの影響で皆様にお披露目することも出来ず落ち着いてからご案内する予定でしたが、今度はオミクロン株の流行で更に自粛期間が延びてしまい、いつになったら元の洗心園に戻れるのか非常にもどかしい思いであります。

さて、一つの区切りである2025年まで後3年となり、国は急ピッチで高齢化対策を進めております。昨年の介護報酬改定ではLIFEという新しい試みをはじめた他、ICTの導入推進、それに伴う人員配置の見直し、介護職への定額給付など、慢性的な人手不足や財源不足で今後ますます疲弊していくであろう介護業界を何とか立て直そうと必死であります。

当初の目標である地域包括ケアシステムの構築も思うように進んでおらず、在宅介護の限界が露呈した今、やはり施設や病院での支えなくして超高齢化社会を乗り切ることはできません。

特別養護老人ホーム洗心園は地域の介護老人福祉施設として、その重責を担うべく鋭意努力してまいります。

今後とも社会福祉法人洗心会へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

令和四年 元旦
社会福祉法人洗心会
理事長 小笠原 健



施設内継続研修

施設内継続研修は、職員の資質、専門性の向上を目的として実施しています。

専門的な知識の修得のみならず、職員としての一体感と職業人としてのキャリア形成について自らも考え実行できる人材育成も目的にしています。

研修は毎月内容を変えて実施し、同じ研修を月4～7回時間を変えて実施することで、できるだけ全員が参加できるよう配慮しています。講師は施設長・主任クラス職員です。

令和3年度の研修内容は、4月接遇研修・法令遵守、5月感染症（食中毒）・口腔ケア、6月事故防止・防犯・大規模災害対策、7月褥瘡予防・職員の腰痛予防、8月誤薬誤飲をなくす・与薬介助時の注意、9月ターミナルケア・エンゼルケア・グリーフケア、10月認知症介護、11月感染対策の重要性、12月高齢者虐待防止・個人の尊厳、1月認知症入所者とのかかわり方、2月介護保険についての学習、3月事故対策・防犯対策です。

さらに11月には、小笠原理事長（歯科医）による「口腔衛生について」の研修を受けました。このように研修を重ねることで質の向上を目指しています。

介護の仕事は、利用者のお一人おひとりの生活全体を理解し、なぜ介護が必要であるのか、個別性を意識・理解して適切な介護を提供することです。

これからも私たち職員は、利用者さまを人生の最期までかけがえのない人格をもった個人として尊重し、自立を支援するために知識の修得に努め、質の高い介護支援を行ってまいります。

※魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしまプラチナ認証を令和3年7月継続認証されました。（働きやすい職場づくりや人材育成、業務改善、介護サービスの質の向上等一定の基準を満たしている福祉・介護業界のトップランナー法人として認証）

施設長 高垣 恵美子



～施設内研修の様子～



～感謝～

私は洗心園に平成15年1月に入職しました。今思い返すに19年の間に印象に残っている事が幾つかあります。その一部を紹介します。

施設の看護師の仕事は病院勤務時とは随分内容が異なり、最初の1年は苦勞の連続でした。

当時は、食事摂取が難しくなった入所者さまは胃に通したチューブや鼻に管を入れて人工的に栄養を取る方法が多かったと記憶しています。

しかし、最近では入所者ご本人が「食べられなくなった時、延命治療をどうするか」自らの言葉でご家族に伝えておられるケースが増えてきています。

胃瘻を望まれない場合は、その人が何を食べたいのか、何なら食べられるかを管理栄養士や介護職員・看護職員が連携し栄養サポートを行いながら、「最後まで口から食べること」の可能性を探っていきます。

現在、施設には3名の胃瘻造設者がおられます。皆さん一日1～2回以上は離床しゼリーやムースを口から食べておられます。カロリーは十分ではありませんが、注入食と併用しながら入所者さまの体調管理を行っています。

平成23年に1年以上の期間をかけて、介護職員全員が喀痰吸引の登録特定行為業務従事者認定証を取得しました。講義や実地研修は、とても大変な学習であり印象に残っています。この実地研修を行うために、私も医療的ケア教員講習会に参加しました。

痰や唾液でムセ、自力で飲み込むことが出来ない入所者さまも、介護職員による速やかな吸引で安全・安楽に夜を過ごすことが出来ています。その効果もあって、最近では誤嚥性肺炎が随分少なくなったように思います。

さて、コロナ禍において、散髪業者が来られない為、入所者さまの散髪を看護職員で行いました。髪が長くないか、頭皮の湿疹などはないか等、チェックをしながらいつも気持ちよく清潔にして差し上げたいとの思いからです。入所者さまからは「腕が上がったね」との声をいただきました。

まだまだお伝えしたいことは沢山ありますが、最後に、私の好きな言葉で(故)渡辺和子さんの本に「置かれた場所で咲きなさい」という言葉があります。

入所者さまが孤独にならないように、特に言葉が出難い入所者さまには寄り添って笑顔を見せることで、安心と安らぎを感じて頂き「笑顔の花を咲かすよう」努めてまいりました。

私自身も今まで多くの人に支えて頂きながら、50年間看護師の仕事を全うすることが出来ました。今回、皆さまに感謝の気持ちをお伝えする機会が頂けたことを嬉しく思います。

渡辺和子・・・学校法人ノートルダム清心学園理事長、キリスト教カトリック修道女



看護統括主任 中村 朱美



特養行事の様子



スイカを食べました



夏と言えば『スイカ』ですね。甘くてひんやり美味しいスイカを食べました。果汁100%のスイカジュースも大人気。



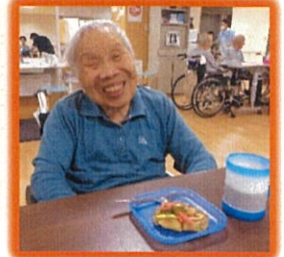
敬老祝賀会

『おめでとうございます』敬老祝賀会は1年の行事の中でも大イベントです。表彰式・記念品贈呈・紅白上用饅頭贈呈・お祝い弁当等・・・楽しいことが目白押しの日でした。

合同法要

毎年9月17日に合同法要を行っています。西教寺住職に來園いただき、利用者さんと一緒に供養させていただきました。





おやつ会

職員が目の前で焼く『関西風お好み焼き』は、焼いている最中からプ〜〜と美味しそうな匂いがたまりません。ビールや炭酸ジュースとの組み合わせは最高でした。



お茶会

色とりどりの和菓子とお抹茶をご用意しました。着物姿のお茶子さんが配るお茶セットは、いつものおやつとは格別には違い、まるでお茶屋さんに行ったみたいでした。



もちつき・ぜんざい会



今年も杵と臼を使い、『ヨイショ〜ヨイショ〜』と利用者さんの掛け声と共に、職員は力いっぱい餅をつきました。午後からはぜんざい会をして、『お替りちょうだい〜』と賑やかでした。



クリスマス会



クリスマスケーキとサンタさんから配られるプレゼント、そしてゲームにお菓子……。クリスマスは楽しい事ばかりで、いくつになってもワクワクしますね。



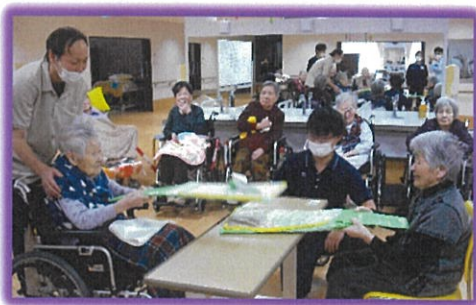
お正月

お正月と言えば、おせち料理・かるた・書初め・福笑い等……。2022年も元気に楽しくスタートしました。館内中で、お正月ムードが漂っていました。



甘酒会

寒い冬には、体がポカポカ温まる甘酒がピッタリです。甘い物が大好きな利用者さんは、お菓子も一緒に召し上がられました。もちろん甘酒のお替りも沢山用意しました。



その他の行事（ミニ喫茶・レクリエーションなど）

コロナ禍でボランティアの皆さまに来園いただけない中、ミニ喫茶やレクリエーションを充実させています。職員がアイデアを出し合って、ミニ喫茶のメニューやレクリエーションを考えています。行事の度に、利用者さんの笑顔を見ることができ、とても楽しい時間です。

デイサービス行事の風景

敬老会・運動会・クリスマス会等・・・
毎月、いろんな行事を利用者さんと一緒に楽しく行っています。
季節の作品づくりは、試行錯誤しながら毎回素敵な物が出来上がっています。



～編集後記～

コロナ禍で面会ができない中、家族の皆さまに園での様子を少しでも多くお伝えできるよう、洗心園ニュース・写真・ブログ等を通じて、これからもより一層色々なことを発信して行きたいと思っております。是非ご覧ください。

K. N